（別紙4（2））

事業所名　社会福祉法人　寿宝会　グループホーム輝楽苑

作成日：　平成　22　年　4　月　23　日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	業務に時間がとられ、外出の機会が少ない。日常的に外出が出来ていない。	外出が日課となる。	・近隣への散歩も外出の一環と考える。また、業務の一環と考える事で日常的に外へ出る機会が作れる。個々に「楽しい」が違うため、その人その人が楽しめるような方法を考える。まずは何を楽しみにされているか聞き出すことから始める。	6ヶ月
2	43	職員の都合や、時間での誘導となっている。排泄チェック表に頼って、業務的・作業的に排泄ケアが行われている。	一人ひとりの状態に応じた排泄ケアの実現	・水分チェック表、排泄チェック表、行動のチェックを一つにまとめ、水分摂取と排泄の関連性や、行動パターンを個々に読み、一人ひとりの排泄タイミングを細かくチェックする。 ・職員の意識付け	6ヶ月
3	2	小学生との交流の場、方法等分からない状態であった。保育園児との交流も少なく、こちらから出向く事をしていなかった。	小学校の行事等へ出向き、きっかけを作る。	普段何もない状態で出向いての交流は難しいため、行事で参加できそうな事がないか情報を集め、参加していく。（バザー・運動会等）	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。